

KANESO

環境・社会報告書2011



カネソウ株式会社

ゆとりある社会の実現をめざして、未来に向かって前進。

21世紀は大量生産、大量消費型の社会と別れを告げ、自然環境や教育・福祉の充実など、人と自然の共存という価値観の時代になるといわれています。

そのなかで、私どもカネソウ株式会社は、自然環境との共生、高齢化社会を見据えた安全で安心して暮らせる環境づくりなど、人間性豊かな、ゆとりある社会の実現を目指して常に皆様のお役に立ち続ける企業でありたいと考えています。

これからも建築・福祉・環境・緑化・都市景観・防災関連をはじめとした分野できめ細かな商品とサービスを皆様に提供して参ります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻の程どうか宜しくお願い申し上げます。



カネソウ株式会社
代表取締役社長
近藤 健治

基本理念

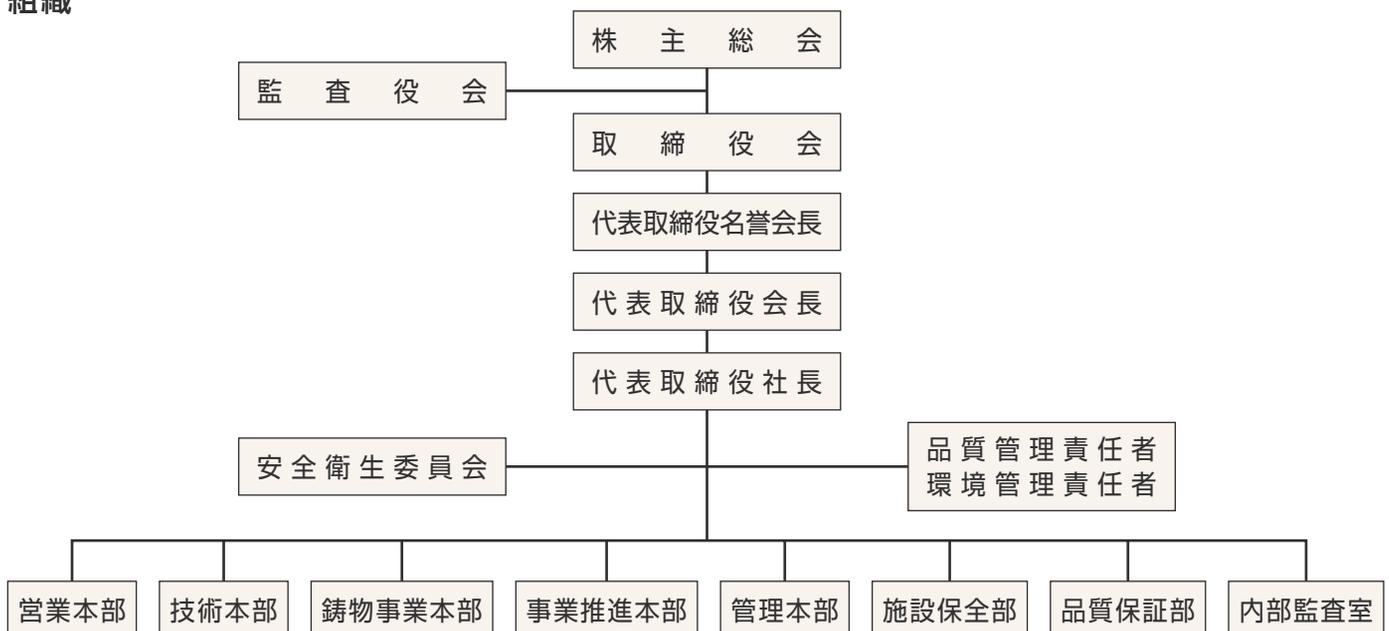
社是

覇道を行わず、常に王道に順う

社訓

- 一、すべてに誠実であれ
- 一、仕事に厳しさを求めよ
- 一、和を貴び礼節を正せ
- 一、常に謙虚であれ

組織



社 名 カネソウ株式会社
 本社所在地 〒510-8101
 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
 TEL 059-377-4747
 FAX 059-377-5684
 代 表 者 代表取締役社長 近藤健治
 創 業 大正11年2月
 設 立 昭和54年10月
 資 本 金 18億2,000万円
 株 式 名古屋証券取引所市場第2部上場
 証券コード5979
 決 算 期 3月
 事 業 目 的 建築・福祉・緑化・
 都市景観整備関連製品の製造及び販売
 従 業 員 数 247名(平成24年3月現在)

本社・朝日工場
 〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
 TEL 059-377-3232 FAX 059-377-3905

東京支店
 〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番5号
 JBビルディング3F
 (本社コールセンター) TEL 03-3433-6855 FAX 03-3433-6755
 (直 通) TEL 03-3433-6645 FAX 03-3433-6637

大阪営業所
 〒540-0026 大阪市中央区内本町一丁目1番6号
 内本町B&Mビル6F
 (本社コールセンター) TEL 06-6942-7030 FAX 06-6942-7020
 (直 通) TEL 06-6941-7045 FAX 06-6941-7054

仙台営業所
 〒980-0804 仙台市青葉区大町一丁目1番8号
 第3青葉ビル9F
 (本社コールセンター) TEL 022-214-5855 FAX 022-214-5856
 (直 通) TEL 022-214-8088 FAX 022-214-8089

福岡営業所
 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前四丁目8番15号
 博多鳳城ビル6F
 (本社コールセンター) TEL 092-432-2525 FAX 092-432-2526
 (直 通) TEL 092-432-2532 FAX 092-432-4976



●本社社屋

会社沿革

- 大正11年 2月 三重県桑名市大字桑名344番地に於て、現名誉会長小林昭三の父 小林惣太郎により創業。
- 昭和45年 3月 小林鑄造株式会社を設立。
- 昭和54年 10月 カネソウ株式会社を設立。
- 昭和63年 4月 小林鑄造株式会社が日本工業規格表示許可工場 (JIS G 5502 球状黒鉛鑄鉄品)に認定される。
- 平成 3年 3月 小林鑄造株式会社と合併。
- 平成 4年 11月 (財)素形材センターより第7回素形材産業環境優良工場に表彰される。
- 平成 6年 4月 下水道用資器材製造工場に認定される。
- 平成 7年 11月 工業標準化実施優良工場として中部通商産業局長より表彰を受ける。
- 平成 8年 12月 品質マネジメントシステムの国際規格「ISO 9001」の認証を取得。
- 平成 9年 3月 名古屋証券取引所市場第2部に上場。
- 9月 環境マネジメントシステムの国際規格「ISO 14001」の認証を取得。
- 平成14年 3月 2001年度三重県経営品質賞奨励賞を受賞。
- 平成15年 3月 2002年度三重県経営品質賞優秀賞を受賞。
- 平成18年 11月 新JISマーク表示制度に基づき、JIS表示の認証を取得。(JIS G 5502 球状黒鉛鑄鉄品)
- 平成20年 3月 小林昭三が会長から名誉会長に、小林正和が社長から会長に、近藤健治が副社長から社長に就任。

経営上のキーワード

● ゆとりある社会の実現をめざして。

自然環境との共生、地域の高度情報基盤の構築、高齢化社会を見据えた安全で安心して暮らせる環境づくりなど今や官民を問わず新たな生活基盤への投資が進められています。

カネソウではゆとりある社会の実現を目標に、既存市場の拡充化とさまざまな新規市場の開拓に努めて参ります。

● 環境保全の推進

地球環境の保全は、人類にとって大きなテーマです。

カネソウでは、人が生活していくうえで必要な環境保全にも役立ちたいと考えています。

太陽光発電システムを建物に設置するための製品や、建物に降り注いだ雨水を、ガーデニングなどの水撒き用の水として貯えておく雨水利用システム、廃木材とプラスチックから、腐らない木として再生させたリサイクルウッドなど環境に配慮した製品を開発しています。

● 福祉のまちづくりへの貢献

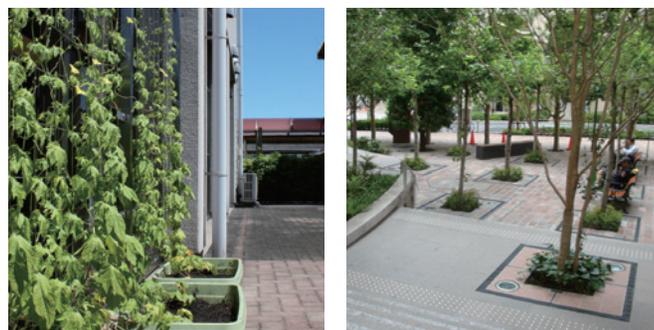
高齢化社会を迎え、住まいや周辺の生活環境が変わりつつあります。安心して通行できる幅の広い歩道、段差の少ない歩行環境など、高齢者や障害者にも配慮された快適な福祉の街づくりが多くなってきました。

カネソウでは車椅子の通行をスムーズにする細目タイプのみぞ蓋や視覚障害者誘導用のマーカー、トイレや浴室で体をサポートする補助手すりなどを用意して、これらのニーズにも応えています。



●人と緑の共生

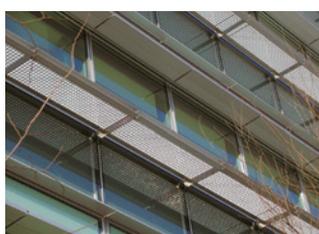
都市部においてヒートアイランド現象やCO₂の急増が問題となっている現在、都市部における緑化の推進、人と緑の共生が重視されています。この様な中でカネソウでは、より有効に緑地帯を増やす屋上緑化・壁面緑化に関連する製品を提供。また、公園やガーデニングに関する各種製品を供給する事により住環境における緑化の推進を行っています。



●防災ニーズへの対応

近年、住環境に対しての防災ニーズが急速に高まっています。これに対しカネソウでは、地震や不同沈下による建物の損壊を防ぐエキスパンションジョイントを早期より提供してきました。さらにここ数年、地震時における建物の安全性に対する要求が高まり、その着工件数が確実に増えている免震構造建築に対し、専用のエキスパンションジョイントを開発。

また災害時の救助スペースとして使用する避難バルコニーや木造住宅用の耐震補強装置などさまざまな防災ニーズにお応えしています。



●都市環境の快適化

生活圏の快適さを高めるため、都市環境の整備はこれからも増えていくと思われれます。特に安全な都市環境づくりは、社会ニーズとして求められています。

この点に着目してカネソウでは、歩行者の安全性を確保する製品を開発。歩道と車道の分離を図るための車止め・横断防止柵や、歩行者の転倒事故を未然に防ぐノンスリップタイプや、すきまの小さいタイプの各種みぞ蓋を提供しています。



■環境マネジメントシステム

●ISO14001 審査登録

今、地球温暖化や廃棄物処理、水質汚濁など地球環境への大きな課題が取りざたされています。カネソウもこうした環境に与える影響を最小限に抑えるため、また環境保全活動を企業の活動として定着し発展させるために、平成9年9月、全社（支店、営業所も含む全サイト）で環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得し、現在も維持しています。



●法規制等の順守

環境に関する全ての法律、規制、条例、協定を順守するため、総務部と環境管理責任者が関連法規制、その他要求事項の一覧表である「法規制等登録簿」を作成し常に最新情報の収集・管理を行っています。省エネルギー法、廃掃法などに基づく報告や届出も期限内に速やかに実施しています。法規制への順守状況については環境管理責任者がチェックリストに基づいて確認し経営層へ報告しています。

●環境管理マニュアルの公開

環境管理マニュアルを弊社ホームページ上で公開しています。当社の環境への取り組みを認識していただくと共に、これから取り組まれる企業の方に参考事例としていただくことで環境への取組みが更に広がると考えています。

●品質方針・環境方針

カネソウは、「快適をかたちに」をミッションとして、環境を保全し、リサイクル社会の構築を意図して、安全で快適な生活環境づくりに貢献できる商品をお客様に提供して参ります。

1. 企業倫理・法令順守

カネソウは法令、およびカネソウが同意する全ての倫理・道徳を順守します。

2. リサイクル

リサイクルが可能な、あるいはリサイクルしやすい商品を開発します。

3. 汚染抑制

製造プロセス及び付随する活動における汚染の発生を最少にします。

4. ライフサイクル思考

全ての活動においてライフサイクル思考を働かせます。

5. 継続的改善

品質監査・環境監査・マネジメントレビューを実施し、品質マネジメントシステム・環境マネジメントシステムの有効性の継続的改善を行い、品質パフォーマンス・環境パフォーマンスの向上を行います。

6. 方針の周知と達成

カネソウの業務を行う社員及び要員に本方針を周知し、その達成の為に、目標を設定し、目標管理を行います。

7. 無事故・無災害・危機管理

無事故・無災害を最優先として、常に危機管理意識を持ち、危機の洗い出しを全社で行い、その対策を実行します。

8. JIS工場

カネソウの社員はJIS表示認証工場としての維持管理を継続します。

9. 下水道用資器材製造認定工場

カネソウの社員は下水道用資器材製造認定工場としての維持管理を継続します。

10. 発明の奨励

職務発明を奨励します。

— 本方針は公開するものである —
代表取締役社長 近藤健治

■環境保全活動

●産業廃棄物の削減

カネソウは生産活動に伴い多くの産業廃棄物を排出していますが、工場内での発生抑制、分別の徹底を行い、また、処分業者の協力を得ることで、総排出量・最終処分量共に削減することが出来ました。

生産工場がある本社・朝日工場では、廃棄物(有価物、一般廃棄物、産業廃棄物)

について70種類の分別を行っています。事務部門である本社管理棟内では「紙類」を10種類に分別しています。

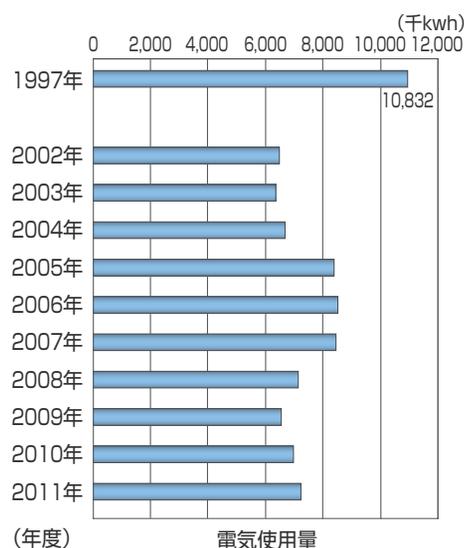
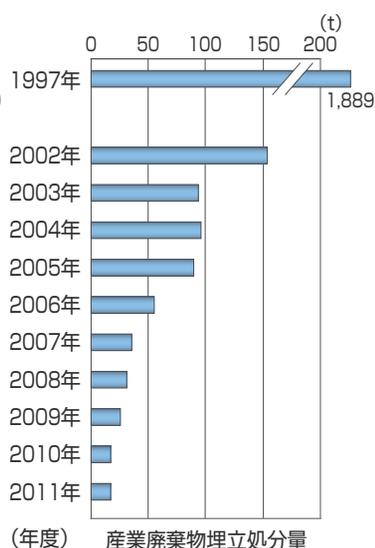
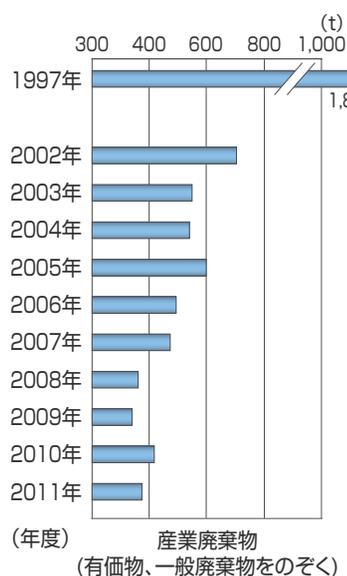
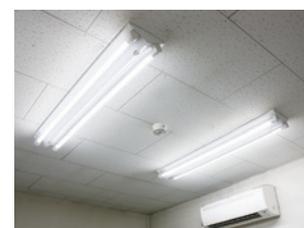
適正に細かくリサイクルしやすい状態にして分別を行うことでリサイクルを推進しています。



●電気使用量の抑制

カネソウは第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。エネルギー使用量の大部分が電気であり、電気使用量の削減が即座に、CO₂削減に繋がります。時差出勤や生産時間の調整による電気使用量の抑制、エコオフィス(空調温度の制限、未使用時消灯、エレベーターの不利用奨励)の推進、LED照明の導入(一部)を進めましたが、電気使用量の削減にはつながりませんでした。

次年度は更なる電気使用量の削減につなげます。

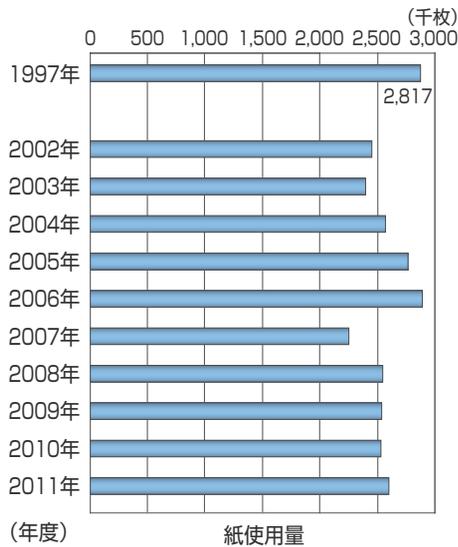


2011年度の最終処分量は20.8トン(2010年度:20.96トン)で、産業廃棄物総排出量387トン(2010年度:428.88トン)に占める割合は5.4%です。

電気使用量(千kwh)	CO2排出量(ton-CO ₂)
2011年度: 7,141	2011年度: 3,564
2010年度: 6,926	2010年度: 3,468
2009年度: 6,523	2009年度: 3,130
2008年度: 7,092	2008年度: 3,470

●紙の使用量削減

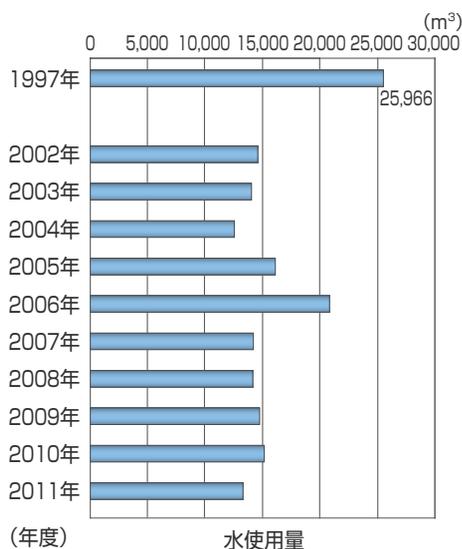
EメールやEメール添付資料などは、モニターでの確認にとどめ、極力出力しないようにしています。また片面だけ使用されたコピー用紙のうち、裏面の使用可能なものについて裏紙として再利用し、紙の減量に努めています。最終的に廃棄される紙は10種類に適正に分別し、リサイクルしています。



紙の使用量(枚)
 2011年度:2,613,490
 2010年度:2,523,750
 2009年度:2,554,240
 2008年度:2,563,250

●水の使用量削減

生活用水としての使用が多くを占めており、トイレ使用時の水洗回数を減らすことや一部センサー式水栓に交換するなど、「節水」を喚起しています。



水の使用量(m³)
 2011年度:13,036
 2010年度:15,039
 2009年度:14,542
 2008年度:13,835

●グリーン調達

主に事務用品を購入する際、コストだけではなく環境負荷ができるだけ少ない物品を購入しています。購入に際しては財団法人日本環境協会監修の「エコマーク商品データベース」を参考にし、各メーカーカタログのエコ商品を選定するように努めています。

男性社員の制服には再生PET樹脂50%以上のエコマーク商品を採用。



男性社員の制服

社用車は現在、ハイブリッドカーを3台所有しており2012年度も1台導入予定です。



ハイブリッドカー

社内には35台のフォークリフトがありますが、従来からディーゼルエンジン式を積極的に削減し、バッテリー式及びLPG式への変換を完了いたしました。現在はバッテリー式27台、LPG式8台となりました。



LPG式フォークリフト



バッテリー式フォークリフト

●PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物の 適正保管と適正処理

平成13年に「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」が制定され、これによりPCB廃棄物の保管事業者は平成28年までに適正処理することが義務付けられました。当社では高圧コンデンサ26基を保有しており特別管理産業廃棄物管理責任者のもと適正な保管と行政への定期報告を行っています。今後、日本環境安全事業株式会社豊田事業所において適正処分を行います。(平成24年6月に高圧コンデンサ26基の中間処理が完了しました。)



●PRTR報告制度

PRTR法では第一種指定化学物質の取扱量が年間1トン以上、その中の特定第一種指定化学物質の取扱量が0.5トン以上の場合に届出義務がありますが、当社では平成13年の法制定以降、届出義務となる量の取扱いはありません。しかし有機溶剤系の塗料を一部、水性塗料へ移行するなど更なる削減を行っています。

PRTR法:特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

●エコ通勤・温暖化対策

朝日町の呼びかけに応じて当社を含む6社が「朝日町企業エコネット」を結成しエコ活動に取り組んでいます。平成23年5月、10月にはエコ通勤を実施しました。マイカー通勤者が90%以上と圧倒的に多い中、公共交通機関、オートバイ、自転車、徒歩による通勤を呼びかけ、結果としてのべ68名の社員がエコ通勤に取り組むことが出来ました。次年度も期間を定めて実施予定です。

エコ通勤実施回数：2回(5月・10月の各1ヶ月)

エコ通勤者：68名(13.8%)

CO2削減量：2,044.09kg

●開発・設計の環境配慮

【製品アセスメント】

製品開発時には「製品アセスメントチェックシート」を活用し、開発する製品が環境に配慮していることを次の7項目について、それぞれに細かく確認しています。

- 製品が使用された後の再利用の容易化
- 製品が使用された後の分解・分離の容易化
- 製品が使用された後の部品等の分別の容易化
- 最終処分時の安全性の確保
- 製品の減量化 ○製品の長期使用化 ○包装材の減量化

【環境配慮製品】

カネソウが創業当時から製造している鋳鉄はそれ自体がリサイクルできるエコ材料ですが、その他にもリサイクル素材を使用した製品、雨水利用を目的とした製品、防災の分野でお使いいただく製品、溶接を用いない環境にやさしい加工方法で製造する製品など、素材、用途、製造工程のそれぞれで環境に配慮した製品をラインナップしています。



タイヤ止め(リサイクルゴムチップ)
廃材のゴムチップを利用してつくった環境にやさしいタイヤ止めです。



雨ボトル(雨水再利用)
建物の屋上に降り注いだ雨水を、草花への散水や洗車などに利用する為の貯水タンクです。



無溶接ステンレスグレーチング
環境に優しい無溶接組立法により、低価格かつ、高品質を実現したステンレス製グレーチングです。

■社会的な取組み

●清掃美化活動

有志により毎年4回の清掃美化活動を行っています。始業時間前に本社・工場周辺から、ポイ捨てが非常に多い高速道路高架橋下まで範囲を広げて実施しています。毎回30～40名が参加し、清掃美化活動は地域の美化とともに、個人個人の環境意識の向上に役立っています。



●献血協力

献血活動は健康な社員が誰でも出来る社会貢献活動として毎年2回実施しています。今年も三重県赤十字血液センターから献血バスが当社を訪れ約30名が献血に協力しました。会社からは献血者全員に図書カードを配るなど積極的に献血協力を後押ししています。今後も毎年2回の協力を継続していく予定です。



●会社見学

本社・朝日工場近くの朝日小学校3年生の皆さんが「地域の様子と働く人について」の学習の一環として本社・朝日工場を見学されました。生徒さんたちは出来上がった製品や説明を聴いて熱心にメモをとっていました。鑄造ラインでは炉から出てきた真っ赤に溶けた鉄と火花に大歓声が上がりました。今後も当工場を見学していただくことで「地元企業」カネソウに興味を持っていただくことを期待しています。



●地域防犯活動

地域安全活動推進モデル事業所に指定され、地域防犯活動を継続しています。厚生棟や駐車場に防犯ポスターや地域安全啓発旗を設置し、社員及び、地域のみなさんの意識高場につなげています。また交通安全県民運動期間に合わせ、出勤時のシートベルト着用確認、運転中の携帯電話使用禁止について確認を行い交通法規の順守、交通安全につなげています。



●AED(自動体外式除細動器)設置

社員、お客様の緊急事態に対応できるよう、本社・朝日工場内にAEDを4台設置しています。正門にはAED設置表示を行い、地域住民の要請にも対応できるようにしています。



●インターンシップと職業体験

毎年県内の工業高校、大学、地域の中学校より学生のインターンシップを受け入れています。職業体験を通じて社会人として必要な基本的なルールとマナーを学んでいただいています。中学生については働くことの大変さを知るよい機会になっています。

■安全衛生活動

●健康増進

社員全員に血液検査を含めた定期健診を実施しています。再検・要精密検査者には総務部がその経過をフォローすることで早期発見・早期治療を推進しています。35歳以上の社員には、生活習慣病予防検診を社内定期健診に取り入れ実施しています。また、社員の家族向けに特定検診を実施しています。



●安全衛生活動

安全衛生活動は安全衛生委員会を中心に活動しています。安全衛生パトロールと安全衛生委員会を通じて、危険箇所、危険作業の洗い出しとその改善、意見交換を通じて安全・安心な職場づくりに取り組んでいます。毎年、車両運転従事者(トラック、フォークリフト)に対して安全運転講習を行い、安全運行を徹底しています。フォークリフトは後部を白く塗装し、接触したことが一目でわかるように工夫しています。(P.7:LPG式フォークリフト写真 参照)また危険予知トレーニングの実施をきっかけとして危険予知活動を行っています。2012年度は労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)の構築に取り組んでいきます。



安全パトロールの実施

■ご意見・ご感想をお寄せください

「環境・社会報告書 2011」を最後までお読み頂き、誠にありがとうございました。

本報告書は平成9年9月にISO14001の認証取得以降、弊社が取り組んできた内容をお知らせするもので、具体的な事例や実績数値をもとに少しでも皆様にご理解いただけるように努めました。内容的にはまだまだ不十分な点もありますが皆様からお寄せいただく貴重なご意見を今後の活動の参考とさせていただきたいと考えております。よろしければ、弊社品質保証部までご意見・ご感想をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

品質保証部:〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地

<TEL>059-377-4747 <FAX>059-377-5684

[E-mail] info@kaneso.co.jp

惣カネノウ株式会社

本社所在地 〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
〈TEL〉059-377-3232 〈FAX〉059-377-3905

- ホームページアドレス <http://www.kaneso.co.jp>
- Eメールアドレス info@kaneso.co.jp

〈名古屋証券取引所市場第2部 上場 証券コード5979〉

国際品質マネジメントシステム規格 (ISO 9001) 審査登録
国際環境マネジメントシステム規格 (ISO 14001) 審査登録



CM001



ISO14001
JSAE013



ISO9001
JSAQ118

日本工業規格表示認証工場 (認証番号 JW0406002)
下水道用資器材製造認定工場 (認定番号 112402)